令和３年１２月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和３年１１月１７日（水）
２．開 催 日 時　令和３年１２月　８日（水）　１３時３０分～１５時３０分
３．開 催 場 所　理事全員の同意により Web 会議システムにより開催
４．理 事 総 数　２４人
５．監 事 総 数　２人
６．出席理事数　２１人（Web 会議システムによる出席２１人）
７．出席監事数　２人（Web 会議システムによる出席　２人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、曽根 光彰、南　直樹、玉木 寛之、安室 篤志、齊藤 基樹、伊藤 雄平、大屋 和雄、上島　健、秋山 正稔、原田 政吾、田村 大輔、富居 博治、横山 聡洋、竹内 博次、金子 典生、平井 英次、藤田 亮則、後藤 章洋、池田 隆久、川村 道夫

９．出席監事の氏名

川崎一郎、秦　研二

１０．出席組合員の氏名

出席組合員はいない

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、安室専務理事から東京都中小企業団体中央会からの要請を受け、大屋理事が東京都労働委員会の使用者委員に就任したことの報告があり、大屋理事から挨拶があった。

その後、嶋崎理事長が理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　組合員の脱退について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、株式会社堀越ラジエーター製作所が１２月末で熱処理事業を廃業することにより法定脱退となることの報告があり、１２月末の組合員数７９社、賛助会員数４６社、計１２５社になることの説明があった。

株式会社堀越ラジエーター製作所　代表取締役　堀越 一輝(平成 30 年 4 月 1 日加入)

嶋崎議長は、組合員の脱退について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　創立５０周年記念事業について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、９月の理事会で承認された実行委員により実行委員会並びに３小委員会：式典・講演小委員会、記念誌・記念品小委員会、表彰小委員会が構成されたこととその進捗状況の概要について報告があった。

続いて曽根実行委員長から、創立４０周年時のスケジュールや構成等を参考にして３小委員会としたことと理事会で諮りながら進めて行きたい旨述べられた。表彰小委員会については、来年４月の理事会で候補者の承認を得たいと考えていることの説明があった。

玉木副実行委員長から、式典・講演小委員会の進捗状況について説明があった。

・会場候補（日本工業倶楽部、パレスホテル東京、帝国ホテル、目黒雅叙園）の中から第一候補の日本工業倶楽部の予約が取れなかったため、予算的な問題と感染症対策の点から帝国ホテルと目黒雅叙園に候補を絞って検討している。

・帝国ホテルは、天井高のある１会場で式典と祝宴を予定、式典から祝宴の間にレイアウト変更の時間が３０分程度必要。その時間を利用した企画を検討する予定。

・目黒雅叙園も天井高のある１会場で式典と祝宴を予定、仮予約の状態。

・今月中に会場を選定して、小委員会で当日のスケジュール等について詰めて行く予定。

嶋崎議長から、まだ確定ではないが、帝国ホテルを第一候補として見積金額の減額や内容の交渉をして行きたい旨、述べられた。

南副実行委員長から、記念誌・記念品小委員会の進捗状況について説明があった。

・スケジュールを作成し、逆算しながら進めている。今回のテーマ「感謝」と「未来への展望」に則った内容で検討している。

・記念誌については、創立４０周年記念誌の構成を踏襲しながら、今回のテーマの色を加えたいと考えている。

・記念品については、心に残る物を表彰者と参加者で２種類（5,000～6,000円、各180個）を用意する予定。

・年内に小委員会を開催し、１月の理事会で報告が出来るように考えている。

嶋崎議長から意見が求められた。

原田理事から、①叙勲・褒章受章者については、創立４０周年の時に表彰対象者から除外していること、②関東経済産業局長表彰より、東京都知事感謝状の方が上位であること、③東京都の場合は、申請時期（６カ月前）が早いので注意が必要なことの説明があり、曽根実行委員長から情報提供について謝辞が述べられた。

上島理事から、４０周年時の東京都知事感謝状と東京都労働局長感謝状の受賞者について報告があり、東京都知事感謝状については、労働局長感謝状を受けていることが原則となっているが、功績を補強することで申請が可能であることの説明があった。

嶋崎議長から、前段の正副理事長会で対象者案の資料を見たが、見づらかったので再度整理するように指示したことと人数制限がある場合は、優先順位を考慮しないといけないかもしれないが、各表彰の条件を満たしている方については、推薦したいと説明があった。

嶋崎議長は、創立５０周年記念事業について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　中間決算について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、令和３年４月１日から９月３０日までの上期６ケ月間の中間決算について説明があった。

・ハイブリッド型で講習会を開催したが、コロナ禍により受講者が少なかった。
・総会については、縮小開催し、懇親会を開催していないので参加料収入が無いこと。
・支出については、経費を抑えて執行していること。

嶋崎議長から、予算を執行していない科目があるなど収支が特殊な形で推移していることの説明があった。

嶋崎議長は、中間決算について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　新年賀詞交歓会について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から９月の理事会においてコロナの感染状況を見ながら検討することになっていたことの説明があり、前段の正副理事長会で現状では新年賀詞交歓会を開催するのは難しいと判断し、「中止」することになったことの報告があった。ただし、組合として前に進むことも必要という観点から、新年理事会をハイブリッド型で開催し、終了後、新年会を予定することになったことの報告があった。

嶋崎議長から、年末年始のコロナの状況が予想できず、参加者の安全が確保できないことから、新年賀詞交歓会を中止したことの説明があり、来年の創立５０周年記念式典を視野に入れて帝国ホテルで新年理事会と新年会、それと５月の通常総会を計画したいことの説明があった。新年会については、組合で予算計上し、会費制で行いたいと述べられた。

玉木副理事長から、創立５０周年記念式典を円滑に行うためと感染防止対策の充実していることが必要なことから帝国ホテルを会場としたいことの説明があり、創立５０周年記念式典に関しても限られた予算の中で運営し、将来に続けるために提案したと述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第５号議案　バーチャル組合総会について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、今年５月１４日に組合の法的根拠となっている「中小企業の組織に関する法律」の施行規則が改正され、総会の運営方法にバーチャルオンリー型が追加されたことの説明があった。

・バーチャルオンリー型の総会の実施にあたっては、定款変更が必要。ハイブリッド型の場合は、定款の変更は必要なし。
・オンラインで参加する場合に本人確認をする必要がある。
・組合側の通信障害により組合員が審議又は決議に参加できなかったような場合に決議取消事由に該当するおそれがあり、やり直しを行う可能性がある。

嶋崎議長から、バーチャルオンリー型の総会は必要ないと考えていて、ハイブリッド型を中心に総会を含め各種の会合を開催して行きたいと説明があり、コロナが終息したとしてもハイブリッド型は続けて行きたい旨、述べられた。

上島理事から、今年５月の総会はハイブリッド型と何が違うのかと質問があり、安室専務理事から、ハイブリッド型ではなく、審議等の確認・傍聴をするだけの参加型で議決権・選挙権の行使が出来ないことの説明があり、ハイブリッド型で行う場合にオンライン出席者の本人確認や議決権・選挙権の行使について方法やルールを整備する必要があると考えていると説明があった。

嶋崎議長から、バーチャルオンリー型の総会が出来ることになったことと本組合においては、ハイブリッド型で開催を考えて行くことについて議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第６号議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、青年部会として初めて開催した１０月２０日のオンラインセミナーについて資料に基づき説明があった。

・カーボンニュートラルをテーマとして取り上げ、関東経済産業局製造産業課に講師をお願いし、６０名以上の参加申込があった。
・東京都中小企業団体中央会の持続化支援事業を活用して開催したこと。
・アンケートの集計結果から、今後熱処理業に特化して掘り下げた内容でのセミナー開催の要望があったので、検討したい。

田村部会長から、マーケティング委員会と共催で初めて開催したことと青年部会としては、カーボンニュートラルや次世代燃料などを取り上げ、技術委員会や品質委員会とも共催して、組合員及び賛助会員に有益な情報を提供したいと述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、青年部会活動状況について全員異議なく承認された。

第７号議案　BCP 推進 WG について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、１０月６日の第３回 BCP 推進 WG について議事録に基づき、報告があった。連携企業募集のチラシが出来上がり、現在メンバーを募集している状況で、現時点で８社から回答があり、内４社が WG への参画希望があることの報告があった。

玉木副理事長から、㈱池田熱処理工業が WG に参画したことの報告があり、直近に地震があったが、WG として具体的な方策についてはまだ出来ていない状況であることと実効性のある活動をするために出来ることから取り組みたいことの説明があった。参画希望のある組合員については、BCP の策定や運用について WG でサポートして行きたいと説明があった。

嶋崎議長から、災害だけでなくコロナも含めて支援できるような事業として進めて行きたいと述べられた。

嶋崎議長は、BCP 推進 WG について、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第８号議案　各委員会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、１１月５日に実施された第３回総務委員会について議事録に基づき、報告があった。主な内容として、新年賀詞交歓会で予定していた SDGs のセミナーを別日程で開催を検討し、日程及び講師が決まったことの報告があった。

日時：令和４年２月４日（金）１４：００～１６：３０
講師：明治大学 政治経済学部 専任教授 森下　正氏
会場：ビジョンセンター田町、ハイブリッド型（もしくはオンライン型）

曽根副理事長から、熊木総務委員長中心に計画していることとセミナーを通じて SDGs の取り組みについて具体性が出て来た際には理事会で報告をしたいことの説明があった。

玉木副理事長から、昨日行われた（一社）日本熱処理工業会の総務委員会について熊木総務委員長から報告があったことが告げられ、内容の説明があった。

・職種名の変更：金属熱処理職種から金属熱処理業職種
・試験の実施人数の制限について
・実習生の管理団体が約 4000 団体あり、熱処理業界に売り込みがあるようなので、見極めを行うように指摘があった。

・第２回専門家会議に向けてプレゼン資料を作成するにあたり各種作業風景の写真が必要となっているので、写真提供について協力要請があった。
・第２回専門家会議が年度内に開催され、認定が来年夏頃の予定を見込んでいること。

安室専務理事から、１１月１６日開催のマーケティング委員会については、第４回価格交渉サポートセミナーの前に同じ会場からハイブリッド型で開催したことの報告があった。内容としては、第４回価格交渉サポートセミナーの参加人数などの報告と市場動向に関する情報について意見交換が行われた。続いて第４回価格交渉サポートセミナーについてオンライン営業力強化をテーマとして開催したこととアンケート集計結果に沿って内容（４つのタイプ分析からの対応、姿勢が大事など）の報告があった。

玉木副理事長からセミナーについては、今後いろいろなテーマ・視点から計画して行きたいと述べられた。

続いて安室専務理事から、１１月１９日開催の技術・品質合同委員会について議事録に基づき説明があった。

主な内容については、

①今年度の活動報告と計画について

・ISO 内部監査員養成研修会の中止について
・第５回品質活動発表会について
　開催日：令和４年２月２２日（火）、ビジョンセンター田町、ハイブリッド型
　発表企業：第一高周波工業㈱、多摩冶金㈱、東京都立産業技術センター、
　　藤田熱処理㈱

②令和４年度の計画について

・初級熱処理塾は、令和４年４月１１日（月）から２２日（金）、ハイブリッド型
・中級熱処理塾は６月、技能検定試験受験対策講習会は７月予定。ハイブリッド型
・実践型熱処理塾については、カーボンニュートラルに関するテーマを加えることを検討する。
・ISO 内部監査員養成研修会は、ニーズを確認しながら計画をする。
・ガス燃焼技術基礎研修会は、東京ガス㈱と相談し、計画をする。
・品質活動発表会については、品質規格や保証に関するセミナーの企画など内容を検討する。

南副理事長から、活動が多岐に渡っているが、コロナ禍で制限がある中、各委員が連携して実行できたと述べられた。

横山技術委員長から、講師が不足していることから、講師派遣の要請を行った際の協力要請があった。実践型熱処理塾については、カーボンニュートラルに関する技術的な内容を取り上げることを検討して行きたいと説明があった。

藤田品質委員長から、ISO 内部監査員養成研修会やガス燃焼技術基礎研修会などの対面または実地重視のものについては、やり方の工夫が必要なことと新しい企画や品質保証については、委員会で検討しながら進めたいと説明があった。

秋山理事から、次世代の講師の育成について協力要請があった。

嶋崎議長は、各委員会の活動状況について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第９号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から資料に基づき９月から１１月の組合員及び賛助会員の異動について報告があった。

続いて令和３年度東京都中小企業団体中央会会長表彰式が１０月１５日に開催され、秋山理事が受賞されたことの報告があった。令和３年度東京都技能検定関係功労者を山田理事受賞されたことと同日に令和３年度東京都中小企業技能人材育成大賞知事賞を多摩冶金㈱が受賞されたことの報告があった。

齊藤理事から、組合の活動が確実に行われていることと創立５０周年向けて苦労があると思うが努力によって盛大に行われることを祈念していると述べられた。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和３年１２月８日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　齊藤 基樹　㊞

〃　伊藤 雄平　㊞

〃　大屋 和雄　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　原田 政吾　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　富居 博治　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

出席理事　竹内 博次　㊞

〃　金子 典生　㊞

〃　平井 英次　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

〃　池田 隆久　㊞

〃　川村 道夫　㊞

出席監事　川崎 一郎　㊞

〃　秦　研二　㊞